



## 東日本大震災から13年

3月11日（月）の鎮魂の日、業前の時間に全校で追悼の会を行いました。東日本大震災で犠牲になった方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。また、各学級では震災の記憶や教えを風化させないために、担任から東日本大震災についてそれぞれ話をしました。

現在の子供たちは震災後に生まれているので、直接震災のことを知りません。ですが、自然災害はいつ起こるか分からないので、災害が起きたときどのようなことが必要かを調べたり、自分で命を守る行動をとったりすることが必要になります。今年の初めには石川県で大きな地震がありました。未だ多くの人たちが避難生活を送っています。自然災害はいつか必ず自分にも起きるものと考え、そのためにできることを子供たちと一緒に継続して考えていきたいと思えます。

## 防災学習発表会

総合的な学習の時間では、これまで防災をテーマに、各学年が活動してきました。3月6日に4年生、7日には3、5、6年生が、それぞれ一つ下の学年を対象に防災学習で学んだことを発表しました。

3年生は、「防災マイスターをめざそう」と題し、家の防災レベルを測って、対策が十分でないところの改善を試みました。4年生は、「えがこう！鹿折小オリジナルハザードマップ」と題し、鹿折の町を歩き、見つけた安全に関わるものや危険箇所を地図に表しました。5年生は、「めざせ！減災動画クリエイター」と題し、避難所で役立つ防災のアイデアを自分で検証し、それを動画にまとめました。6年生は、「命を救うプロジェクト」をテーマに、防災に関する町の取組について調べ、理想とするまちづくりを提案しました。

各学年でテーマとすることは違うものの、児童は自分なりに課題を設定し、それを実際に見て調べたり、試したりすることで発見することが多くあったようです。また、上の学年の発表を聞き、自分の考えや質問を進んで発表していました。調べたことは、これからの生活に活かしてほしいです。児童の活動に対しご協力いただいたご家庭の皆様ありがとうございました。

